



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 特殊電極株式会社

コード番号 3437 URL <https://www.tokuden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 誉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 片岡 達哉 TEL 078-941-9421

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,742	7.2	563	13.0	571	9.9	387	7.1
2024年3月期第3四半期	7,220	△1.8	498	△31.2	520	△29.5	361	△38.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 410百万円 (6.8%) 2024年3月期第3四半期 384百万円 (△38.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 245.16	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	円 銭 228.84	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年3月期第3四半期	百万円 11,583	百万円 7,521	% 64.4	円 銭 4,715.03
2024年3月期	百万円 11,575	百万円 7,259	% 62.2	円 銭 4,555.34

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 7,454百万円 2024年3月期 7,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 44.00	円 銭 —	円 銭 48.00	円 銭 92.00
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 46.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2025年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,862	2.9	580	17.1	600	15.8	400	5.4	253.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	1,602,000株	2024年3月期	1,602,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期3Q	21,039株	2024年3月期	21,039株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	1,580,961株	2024年3月期3Q	1,580,965株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境が改善するもと、緩やかな回復が続くことが期待されました。しかしながら、欧州の高金利水準の継続や、中国経済の先行き懸念、米国の政策動向等の影響に注意する必要があるなど、先行きの見通せない不透明な状況で推移しました。

このような状況の中にあつて当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上や作業の効率化を推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新製品、新装置の開発並びに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,742百万円（前年同四半期比7.2%増）となりました。損益面におきましては、営業利益は563百万円（同13.0%増）、経常利益は571百万円（同9.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は387百万円（同7.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、トッププレート工事、プラズマ粉体肉盛工事の受注は減少しましたが、連続鑄造ロール肉盛工事、鉄鋼関連の保全工事の受注が増加したことにより、売上高は5,818百万円（前年同四半期比6.7%増）、セグメント利益は931百万円（同2.1%増）となりました。

② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めました結果、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は416百万円（前年同四半期比3.5%増）となりましたが、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は609百万円（同6.2%減）となり、溶接材料の合計売上高は1,025百万円（同2.5%減）、セグメント利益は108百万円（同29.3%減）となりました。

③ 環境関連装置

自動車産業用粗材冷却装置、自動車産業用試験装置・検査装置の受注が増加したことにより、売上高は411百万円（前年同四半期比75.5%増）、セグメント利益は50百万円（同564.8%増）となりました。

④ その他

自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品の受注が増加したことにより、売上高は487百万円（前年同四半期比1.5%増）、セグメント利益は35百万円（同39.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、11,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加しました。これは、現金及び預金248百万円、その他（流動資産）228百万円、建物及び構築物（純額）123百万円の減少がありましたが、受取手形、売掛金及び契約資産483百万円、商品及び製品190百万円の増加が主な要因です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、4,062百万円となり、前連結会計年度末に比べ253百万円減少しました。これは、電子記録債務794百万円、短期借入金500百万円、その他（流動負債）94百万円の増加がありましたが、支払手形及び買掛金1,474百万円、賞与引当金158百万円の減少が主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、7,521百万円となり、前連結会計年度末に比べ261百万円増加しました。これは、利益剰余金238百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は64.4%（前連結会計年度末は62.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当初の計画通りに推移するものと考えており、現時点におきましては、2024年11月13日発表の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,990,006	1,741,894
受取手形、売掛金及び契約資産	3,279,821	3,763,362
電子記録債権	524,517	456,548
商品及び製品	824,186	1,014,273
半成工事	149,182	150,213
原材料及び貯蔵品	137,471	158,028
その他	276,984	48,282
貸倒引当金	△357	△415
流動資産合計	7,181,811	7,332,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,203,724	2,079,807
その他(純額)	1,590,919	1,578,195
有形固定資産合計	3,794,644	3,658,002
無形固定資産		
投資その他の資産	24,061	47,581
その他	600,415	574,408
貸倒引当金	△25,391	△28,321
投資その他の資産合計	575,023	546,086
固定資産合計	4,393,729	4,251,670
資産合計	11,575,541	11,583,859
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,077,285	602,825
電子記録債務	—	794,462
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	100,200	100,200
未払法人税等	17,111	69,257
賞与引当金	323,158	165,000
工事損失引当金	5,463	2,668
その他	380,178	475,061
流動負債合計	2,903,398	2,709,476
固定負債		
長期借入金	784,500	709,350
退職給付に係る負債	598,526	613,463
その他	29,681	30,492
固定負債合計	1,412,708	1,353,305
負債合計	4,316,106	4,062,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	394,812
利益剰余金	6,276,639	6,515,609
自己株式	△40,574	△40,574
株主資本合計	7,115,689	7,354,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,974	97,386
為替換算調整勘定	10,330	14,860
退職給付に係る調整累計額	△17,176	△12,628
その他の包括利益累計額合計	86,129	99,618
非支配株主持分	57,615	66,799
純資産合計	7,259,434	7,521,077
負債純資産合計	11,575,541	11,583,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	7,220,795	7,742,577
売上原価	5,139,068	5,604,127
売上総利益	2,081,727	2,138,449
販売費及び一般管理費	1,583,086	1,574,767
営業利益	498,640	563,682
営業外収益		
受取利息	261	406
受取配当金	4,921	5,312
スクラップ売却益	4,447	3,526
駐車場収入	—	2,511
受取補償金	13,500	—
その他	1,162	2,723
営業外収益合計	24,292	14,479
営業外費用		
支払利息	2,233	4,061
駐車場収入原価	—	1,317
為替差損	115	857
営業外費用合計	2,349	6,236
経常利益	520,583	571,925
特別利益		
固定資産売却益	401	2,407
特別利益合計	401	2,407
特別損失		
固定資産売却損	111	—
固定資産除却損	889	17,420
特別損失合計	1,000	17,420
税金等調整前四半期純利益	519,984	556,912
法人税、住民税及び事業税	94,663	128,370
法人税等調整額	61,283	36,395
法人税等合計	155,946	164,766
四半期純利益	364,037	392,146
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,244	4,565
親会社株主に帰属する四半期純利益	361,793	387,581

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	364,037	392,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,840	4,411
為替換算調整勘定	3,620	9,147
退職給付に係る調整額	7,712	4,547
その他の包括利益合計	20,172	18,106
四半期包括利益	384,210	410,253
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380,151	401,069
非支配株主に係る四半期包括利益	4,058	9,183

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工事施工	溶接材料	環境関連装置	計				
売上高								
一時点で移転 される財 (注) 4	3,590,267	1,051,670	82,289	4,724,227	480,360	5,204,588	—	5,204,588
一定の期間に わたり移転 される財	1,863,939	—	152,268	2,016,207	—	2,016,207	—	2,016,207
顧客との契約 から生じる収益	5,454,206	1,051,670	234,557	6,740,434	480,360	7,220,795	—	7,220,795
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	5,454,206	1,051,670	234,557	6,740,434	480,360	7,220,795	—	7,220,795
セグメント間の 振替高	—	307,031	—	307,031	22,683	329,714	△329,714	—
計	5,454,206	1,358,702	234,557	7,047,466	503,043	7,550,510	△329,714	7,220,795
セグメント利益	911,902	153,224	7,606	1,072,733	25,655	1,098,389	△599,748	498,640

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に自動車産業向けのアルミダイカストマシン用部品の販売であります。

2. セグメント利益の調整額△599,748千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費)であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短いため、代替的な取扱いを適用し、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	工事施工	溶接材料	環境関連装置	計				
売上高								
一時点で移転 される財 (注) 4	3,721,322	1,025,419	89,200	4,835,942	487,397	5,323,339	—	5,323,339
一定の期間に わたり移転 される財	2,096,847	—	322,390	2,419,238	—	2,419,238	—	2,419,238
顧客との契約 から生じる収益	5,818,170	1,025,419	411,591	7,255,180	487,397	7,742,577	—	7,742,577
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	5,818,170	1,025,419	411,591	7,255,180	487,397	7,742,577	—	7,742,577
セグメント間の 振替高	—	366,828	—	366,828	47,860	414,688	△414,688	—
計	5,818,170	1,392,247	411,591	7,622,008	535,257	8,157,265	△414,688	7,742,577
セグメント利益	931,340	108,308	50,566	1,090,215	35,825	1,126,040	△562,357	563,682

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に自動車産業向けのアルミダイカストマシーン用部品の販売であります。
2. セグメント利益の調整額△562,357千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費）であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 契約における取引開始日から完全に履行義務を充足すると見込まれる時点までの期間がごく短いため、代替的な取扱いを適用し、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識している工事契約を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	154,165千円	281,463千円